

# 塩尻市都市計画マスタープラン

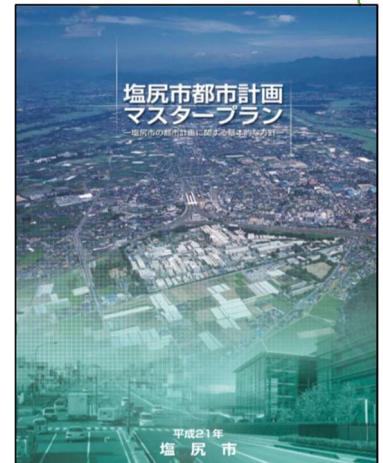
塩尻市では令和6年度中の公表を目指して  
「塩尻市都市計画マスタープラン」の見直しを進めています

## 全体構想の概要

1

### 「都市計画」と「都市計画マスタープラン」とは

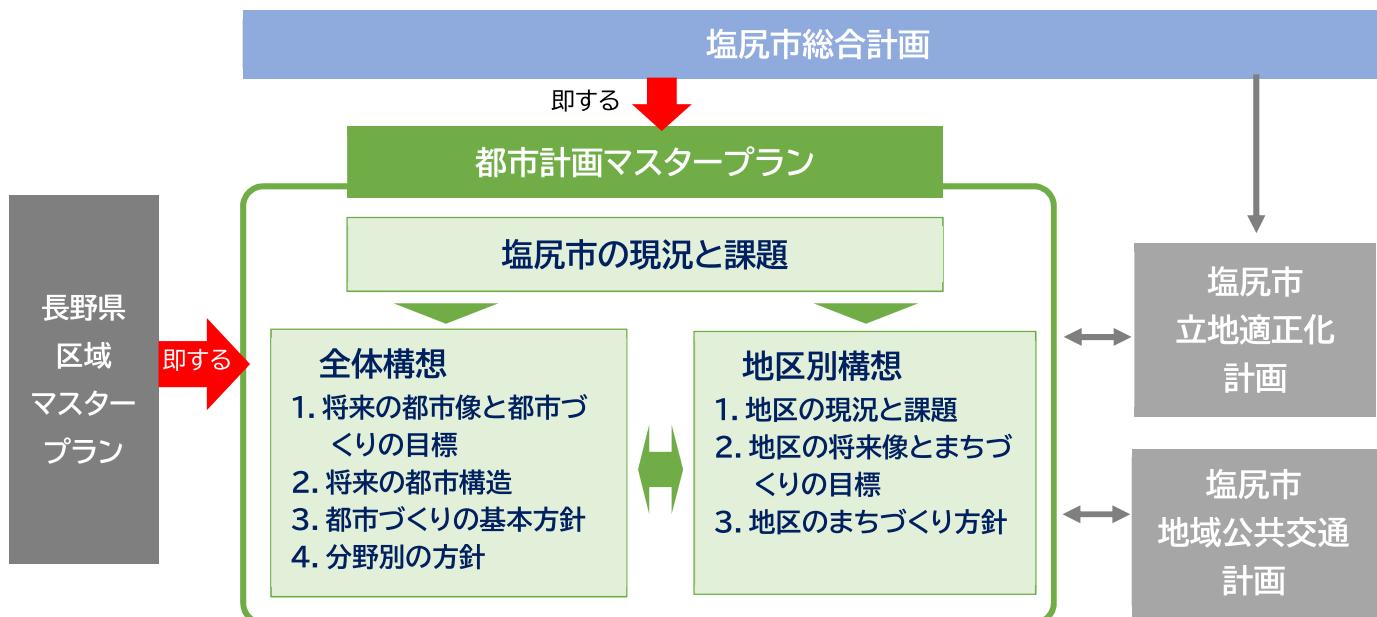
- 「都市計画」とは  
→ 土地の使い方のルール、道路や公園等の配置、計画的な市街地整備事業を定めるものです
- 「都市計画マスタープラン」とは  
→ 市町村が、市民の意見を反映して、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的方向性をわかりやすく示すもの  
→ おおむね 20 年後の都市の姿を展望し、個別の施策内容はおおむね 10 年後を目標として定めます



2

### 「都市計画マスタープラン」の構成

- 都市全体を対象とする「**全体構想**」、市内 10 地区毎に定める「**地区別構想**」によって構成され、塩尻市総合計画等に即して、市の都市計画の基本方針を定めます



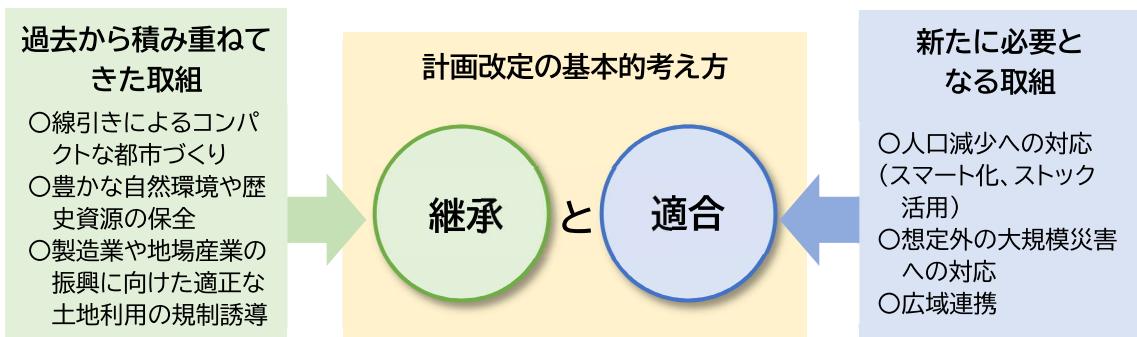
# 塩尻市都市計画マスタープラン

## 全体構想の概要

### 3

### 今回の改定の視点

- 過去から積み上げてきた取り組みを**継承**しつつ、新たな時代に求められる都市像へと**適合**させることを基本に計画を改定します



### 4

### タウンミーティングで確認したい事項

- 今回のタウンミーティングでは、地域の特性を踏まえたまちづくりの目標や方針を定める「地区別構想」の策定にあたって、地域の皆さんとの声を広く聞くものです
- 地区別構想では、最終的には地区が有する強み・弱みを整理した上で地区の抱える課題を抽出し、その課題を踏まえた地区の目標やまちづくりの方針を定めたいと考えています
- 数値的な事実等から、市で地区毎の強み・弱み、地区の目標等を暫定的に設定しますので、そこに対して皆さんを感じていることを述べていただき、案を練磨したいと考えています

### 1

### 地区の歴史と成り立ち



- 江戸時代に中山道や善光寺街道の整備と併せて郷原宿を設置した際、奈良井川右岸の集落の人々を移住させて宿場町が形成、郷原宿には妻入大型の本棟造の家と平入横屋造の家が並び、戦後以降、街並みと緑の街路樹の保存活動が展開
- 昭和 8 年に JR 篠ノ井線の新駅として広丘駅が開業
- 昭和 34 年の塩尻市の成立や、昭和 39 年の松本・諏訪新産業都市指定以降、急速に宅地化や工場立地が進展し人口も急速に増加
- 昭和 47 年には松本歯科大学が開学し、周辺に学生向けのアパートや賃貸住宅が立地
- 昭和 61 年から国道 19 号広丘野村～広丘吉田間の 4 車線化工事が開始され、平成 24 年に事業区間が全線 4 車線開通
- 国道 19 号沿いにセイコーワン広丘事業所をはじめ多くの工場・事業所が立地し、昭和 58 年には角前工業団地、昭和 63 年にはアルプス工業団地、平成 7 年には堅石原工業団地が竣工
- 令和 3 年に塩尻市総合体育館(ユメックスアリーナ)が開館

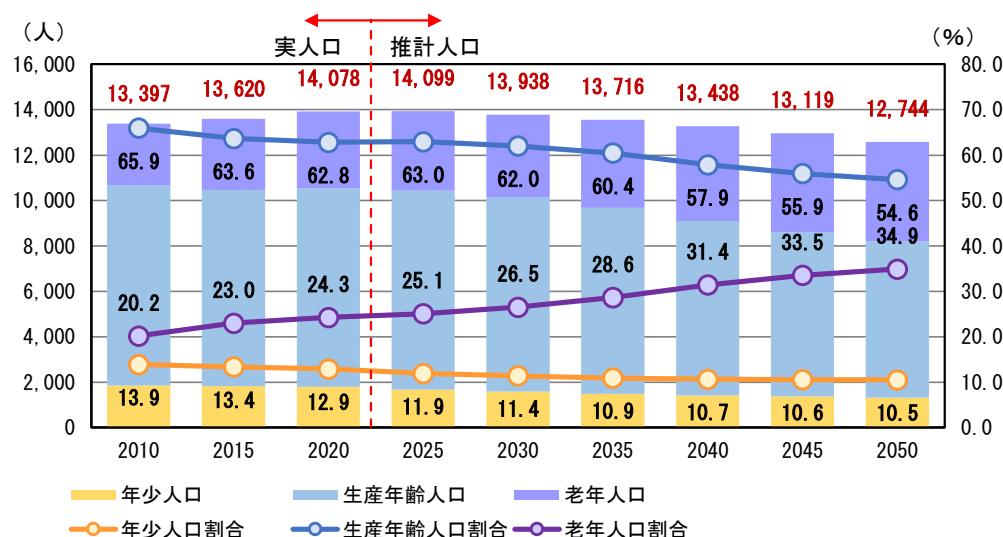
### 2

### 地区の概要



- 地区面積約 1,011ha
- 地区の全域が都市計画区域、約 29%が市街化区域

#### ●人口の推移



- 地区人口は 14,078 人(R2 年)、過去 10 年間で 681 人の増加
- 高齢化率(65 歳以上人口割合)は 24.3%程度

# 広丘地区

地区別構想の骨子

3

## 地区の課題とまちづくりの目標



地区の強み



交通利便性と生  
活利便性を備え  
た広丘駅周辺

多くの従業者を  
雇用する大規模  
事業所の立地

若い世代の転入  
の受け皿となっ  
ている良好な住  
宅地

旧街道の街並み  
を残す郷原宿

地区の弱み



来訪者が滞在す  
る空間や宿泊施  
設等の不足

既成市街地内の  
一部にみられる  
狭い道路や行  
き止まり道路

一部の市街地内  
における公園の  
不足

工場と住宅が混  
在する地域が存  
在し、操業・生活  
環境の調和が図  
られていない

広丘西通線、広  
丘東通線の整備  
の遅れ

「強み」  
を生かす

「弱み」  
を克服する

地区の課題

北部地域の中心と  
して周辺地区の活力維  
持や利便性向上につ  
ながる機能集積が必  
要

良好な住環境を提  
供するため用途混在  
解消や道路・公園等の  
改善が必要

段丘林や郷原宿など  
歴史の中で育まれて  
きた緑の保全が必要

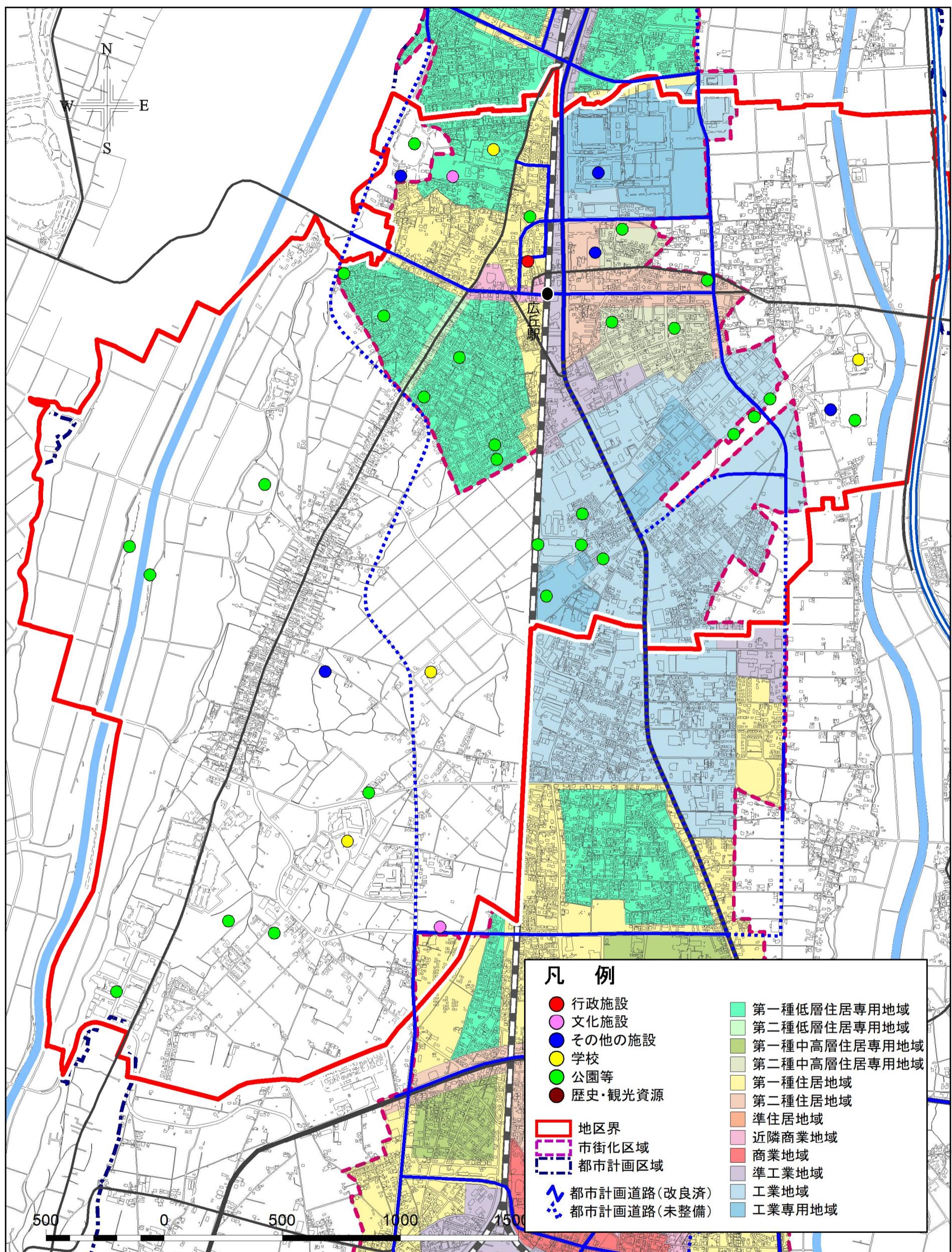
まちづくりの目標

北部地域拠点にふさ  
わしい拠点性と求心  
力を高めるまちづく  
りを進める

生活利便性と良好な  
住環境を生かして居  
住者を呼び込むまち  
づくりを進める

人々の暮らしを通じ  
て緑や歴史が継承さ  
れていくまちづくり  
を進める

●地区の主な施設・資源の分布



●地区の災害ハザード

